



安八百梅園

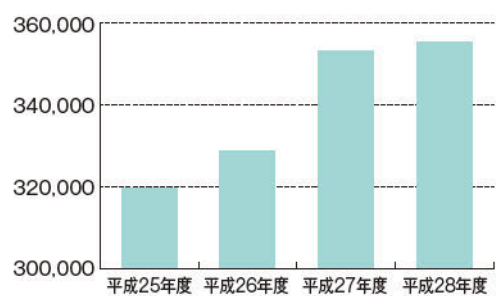


安八温泉

保険料収納率

年度	収納率(%)	
	現年度分	過年度分
平成24年度	94.58	23.68
平成25年度	94.13	24.52
平成26年度	94.56	28.12
平成27年度	95.41	17.93
平成28年度	94.65	18.09

1人当たり費用額(円)



子どもたちを
優しく包摂できるまち
を目指して

安八町は濃尾平野の北西に位置し、揖斐川・長良川に囲まれた昔ながらの田園が広がる緑豊かなまちです。

町内の主な施設として、宇宙の世界を間近で感じることができ、東海地区最大級の天体望遠鏡がある「ハートピア安八」、心も体も温まる「安八温泉」などがあります。

また、100種類以上、1200本を超える梅の木が植えられた「安八百梅園」では、梅の花が咲き始める2月中旬から3月初旬にかけて、梅まつりが行われます。梅の花を眺

ハートピア安八



結神社

めた後は、協力団体によるバザーを楽しむなどして多くの観光客でにぎわっています。
良縁を願う人たちの間で注目されているパワースポット「結神社」には、縁結びの「赤い糸」や恋愛成就のハートが彫られた絵馬を求めて、年間を通して参拝者が訪れます。

安八町の周囲には、大垣市や岐阜市、瑞穂市など県内有数の大都市があり、平成29年度末には名神高速道路に直結する安八スマートインターチェンジが供用開始予定です。これまで以上に交通の利便性が向上することと併せて、子育てや移住定住策を進めていくことで若者や子どもたちを優しく包摂(ほうせつ)するまちづくりを進めていきます。

1人当たり医療費は 2万円以上の伸び

安八町の国民健康保険加入状況は、総人口1万5231人に対して被保険者数3691人で加入割合は24.2%になっております。世帯数は総世帯数5214世帯に対して2045世帯(加入割合39.2%)となっております。国民健康保険としては被保険者数、世帯数ともに年々減少しております。その一方で、65歳以上の前期高齢者の被保険者数は増加し、現在では被保険者のおよそ

半数が前期高齢者となっております。当町の医療費の状況ですが、先ほども触れました被保険者の高齢化や医療技術の進歩により、国民健康保険被保険者1人当たりの医療費は年々増加しております。特に平成27年度では前年度比で2万円以上の伸びを記録し、35万円を突破しました。件数、受診率などの増加は見られないので、1件当たりの受診にかかる費用額が増加していることが1人当たりの費用額の増加につながっていると考えられます。平成28年度についても高額薬剤などの影響からほぼ横ばいの費用額で推移しております。当町では、年々医療費が増加している厳しい状況の中で、基金を取り崩

すなどして何とか国保財政の運営を行っております。
このように医療費が増加している状況下では、安定した保険料の徴収が必要になってまいります。安八町では、窓口で国民健康保険料の納付についてご案内させていただき、広報無線でも周知を行っております。資格の届出にお越しになられた住民には口座振替のご案内などを行っております。また、コンビニ支払いを始めたことにより、時間がない方も簡単・便利に保険料を支払って

簡単・便利な納付の案内 で収納率UP

広域化しても 親切的な対応で取り組み

今年度の国民健康保険は、個人番号による情報連携や平成30年度からの国民健康保険の広域化など様々な変化に準備・対応していかねばならない年であります。安八町でも、保険料の見直し等、今後対応していかなければならない課題が多々ございます。届出等の窓口業務は来年度からも引き続き市町村が行ってまいりますので、住民の方への分かりやすい説明、親切的な対応で日々の業務を取り組んでまいります。

職員一丸となって 幅広い業務に対応

安八町では、国保業務のうち資格等の届出に関することは住民環境課、賦課・徴収に関することは税務課で行っております。住民環境課では、戸籍等の窓口業務からゴミ等の生活環境に関することまで多岐にわたる業務を担当しております。幅広い業務だからこそその難しさもありますが、



上段左から 吉川 悟 課長補佐、森北 雄大、宇佐見 かおる 主査、吉村 等 課長
下段左から 谷みどり、林 茉依、渡邊 真理子、神野 千津 課長補佐



業務風景